

足立区立千寿双葉小学校
校長 星崎 誠 様

足立区立千寿双葉小学校 開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

重点的な取り組み事項①【学力向上】

- 今年度の区学力調査において区の達成基準として設定された通過が国語で84%、算数86%に対して、4月の結果は国語と算数においてそれぞれ88.1%と86.6%と、どちらも達成基準に到達することができて「基礎学力の定着」と「思考力・判断力・表現力の向上」を目指した取り組みの成果を見て取ることができる。
- つまづきのある問題を繰り返し取り組み、直しを行うことや一人一人がめあてをもって取り組む体制ができていたことが成果につながった要因であると感じた。
- 寺子屋「ふたば」にたくさんの児童が参加することができ、前年度に引き続き学習の場を15回実施することができてよかった。
- 朝漢字など漢字に力を入れて指導をしたことで子どもたちが漢字に強くなっているように感じる。漢字に対する取り組みを今後も続けてほしい。

重点的な取り組み事項②【体力向上】

- 「ふたばチャレンジサーキット」やラダーという道具を使って瞬発力を向上するなど、工夫された取り組みがされていることは、子どもたちが楽しみながら体力向上につながるので良い取り組みだと思う。先生方もいっしょに参加することが子どもたちにとっても励みになる。
- 長縄や縄跳びを継続して取り組んだことで、2年生が足立区の基準である200を超えたことは練習の成果だと感じた。

重点的な取り組み事項③【心の教育】

- 学級満足度が全国平均を上回ったことは、先生方の日頃の学級経営の成果と思う。
- いじめの問題に関しては、丁寧な聞き取りや保護者との密な連絡、先生方の連携等で早期に効果的に解決できることを期待する。
- 挨拶をする児童が増えてきたり、掃除の時間の様子が変わったりしているのを見ても成長を感じる。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 自主学習が定着していない様子なので、家庭でもプレッシャーにならないように取り組んでいく必要がある。
- いじわるがいじめにつながってしまうことがあるので小さいうちから保育園や幼稚園での関係性を解消して小学校につなげていく必要がある。
- いじめにつながってしまうことがあるので家庭でも日常の言葉遣いに注意する必要がある。

3 その他

- 今後とも保護者や子どもたちが安心できる学校であってほしい。
- 子どもたちが楽しめるような行事などを協賛して実施できるようになるとよい。